

**留学先国名** : アメリカ

**留学先学校名** : ニューヨーク州立アルフレッド工科大学

**留学期間** : 平成 26 年 8 月 25 日 ~ 平成 28 年 5 月 27 日

大学を5月に卒業することができました。授業は全体的にプレゼンテーションが多い専攻だったので人前で英語を話すことが慣れました。多い教科では週に2回、課題をクラスの前で発表することがありました。最初はプレゼンテーションに全く慣れていなかったため、緊張し声も小さかったですが、それをセメスター中していたので慣れました。それはとてもためになりました。他の授業も少しですが、プレゼンテーションをする機会があり、その時に役立ったり、友達など一対一で話すときもハキハキ話せたり言いたいことがすぐ言えるようになったりしました。専攻の担当者が私のアカデミックアドバイザーで、彼はいつもプレゼンテーション能力は実際に働くときにとても大事としていたので、授業の中にたくさんのパブリックスピーキングを盛り込んでいたのです。当時はつらかったですが、今になれば一人の日本人がネイティブスピーカーの前で話すという経験はとても良いことだと思いました。

最後まで寮の Housing Assistant の仕事を続けることができました。ペーパーワークと鍵の管理が基本的な役割なのですが、Sustainability（環境などの面で持続可能なという意味）で、寮の中で住人たちのゴミのリサイクルやエコフレンドリーな活動などを企画し、地球を守ることにについて知ってもらおうとしています。例えばゴミの分別についてのポスターを作成したりイベントの企画をします。去年にリサイクルの競争した結果、いつもより何倍も多い量を集めることに成功し、住人やディレクターからも好評だったので今回もしました。もう一つは、環境についての映画のイベントがあり、住人を呼びたくさん来てくれたので大成功でした。

もう一つ大学内でのアルバイトといえば、インターナショナルオフィスのアシスタントです。オフィスの基本的な仕事とともにインターナショナルクラブに関わっています。インターナショナルコーディネーターがインターナショナルクラブのアドバイザーのためクラブでのイベントの企画を任せられたり、リーダーシップの位置に就くようになりすごく充実しています。国際的なイベントのために近所の幼稚園生と一緒にひとつのアート作品を作ることになりました。目的は小さい村でも、それぞれの文化を知り合い、祝おうといったスローガンでした。アメリカは移民の国でほとんどみんなが世界どこかの血を受け継いでいます。ヨーロッパ、アジア、南アメリカなど至る所からです。子供たちには手形を取り、ペインティングを自分達の好きなように好きな色にしてもらいました。そしてその家族には小さな手紙を書いてもらいました。そこにはその家族はどここの国から来たのか、その家族は何をするのが好きなのかを書いてもらい、手形に貼りつけて展示しました。そうすることで、大学の生徒と幼稚園の家族にも共有でき、その村のダイバーシティの広さが分かります。

マーケティングには絶対に就こうとっていて、でもマーケティングはとても広い規模です。絞るとすれば、PRです。大学の仕事を通し、イベント企画や人と接すること、新しいアイデアを考えることすべてに楽しいと思いい、その道に行こうかと考えています。

学業面については、私の学校は小さい町にあり、周りは自然ばかりですることといえば勉強くらいしかありません。この環境は勉強するのにとても適していると思います。毎日授業が終わればいつも図書館に行き、課題をしています。そのおかげで大学の Dean's List に載ることができました。Dean's List とは 4.0 満点中 GPA が 3.5 以上の人が載れるリストでそれに載ることができました。年の最後にはマーケティング専攻の中での賞にも選ばれ Honors Society にも入りました。全体の成績も 3.5 をキープしています。勉強やバイトだけでなく大学にもっともっと関わることを大事にしています。そこで私は大学のイベントへ行ったりクラブに入ったりして友達を作ったりしています。例えば Emerging Pioneers Leadership Program です。リーダーシップについて考えるワークショップでチームワークなどで自分の強みなどを分析したりします。それぞれにレベルがあり、PIONEER Level、最後のレベルも達成しました。

最初の頃どうしたら大学にもっと関われ、アメリカ人の友達ができるのかといつも考え、いつも情報を探していた記憶があります。時間が経つにつれ素敵なキャンパス内での仕事が見つかり、とても楽しく充実した学校生活になりました。アドバイスはこの前のレポートでも述べたように、日本もアメリカもそうですが、高校とは違いすべてのスケジュールを自分で決めます。クラスからバイトから自主勉強の時間まで。そのためいろんなシミュレーションをして自分に一番合ったプランを考えています。スケジュール帳かアプリでカレンダーを取ってちゃんとマネジメントをする必要があります。

これが最後のセメスターで卒業と考えるととても寂しいです。卒業後はアメリカで働こうと求人などを探しましたが、2年制でちゃんとした仕事を見つけようとしてもとても難しいのでインターンシップを見つけられたらと思っています。現在は日本で働き、ドイツの大学に編入する予定です。